



交通安全教室

スタントマンが
本校校庭で自転車
事故を再現！



令和3年度前期終了 終業式で校長からメッセージ

9月30日、県大会などの賞状伝達を行った後、前期終業式を行いました。いよいよ10月より後期が始まり今年度も折り返しです。各学年が進級や進学など次のステップに向けてさらに頑張っていきたいと思えます。

岩井誠校長 皆さん、こんにちは。4月8日から今日までの授業日は99日間です。今日は「結果と時間」について話したいと思えます。今回の前期Ⅱ考査で皆さんは、「結果を出す」ためにいかに効率よく点数を上げるかを考えスケジュールを調整して取り組んできたのではないかと思います。

◆皆さんの考査のことに限らず、世の中は大概、より効率よく、できればあまりお金もかけずに、より短い時間の中で、より良い結果を出そうと躍起になって様々な工夫をしています。そんな世の中なので、なりゆきに任せていたら「結果的にこうなった(しまった)」ということは、なかなか認めてもらえず、「生産性がない」、「効率が悪い」、「成果を上げられない」など、かなりマイナスイメージが強いものになってしまいます。◆ここで一端話題を移しますが、「星野道夫」という動物写真家を知っていますか？北極圏の、主にアメリカ合衆国最北端のアラスカ州に生きる動植物を撮影した写真家として有名な方です。その星野さんが書いた「旅をする木」という本の「ワスレナグサ」というエッセイの一部を紹介します。

◆北極圏の自然をテーマにしたあるTV番組の取材で、悪い条件が重なり撮影が思うように進まず時間ばかりがどんどん過ぎていく、そういった中でスタッフに焦りと苛立ちが生じていました。お金をかけて、スケジュールを調整して、わざわざ北極圏まで来たのに、良い番組作りができないのはマズい、何としても結果を出さなければ！そんなスタッフに星野さんが提案します。「これだけ一生懸命やったんだし、相手が自然である以上仕方ないし、10年、20年後に上手くいったとかいかなかったとかは大きな問題ではない。それよりも1日10分でも15分でも良いから、仕事のことを全て忘れて、足下に咲いている花や、風が吹いている様子をしっかりと見てみませんか」と。そうやって辺りを見回すと、例えば、そこだけ花が咲き乱れているホッキョクギツネの巣がありました。何故そこだけ？と考えると、何世代にもわたるホッキョクギツネの排泄物が養分となっていた、そういったことに気づくのです。◆このエッセイの最後に星野さんはこう書いています。「何も生み出すことのない、ただ流れてゆく時を大切にしたい。慌ただしい、人間の日々の営みと平行して、もう一つの時間が流れていることを、いつも心のどこかで感じていたい。◆星野さんの話は「二つの時間軸を持つこと」の大切さを言っています。最初に話したように現代社会の時間軸やその価値観に組み込まれている私たちは、そこから逃れるわけになかなかいきません。ただ、そういった中でも、もう一つ(複数)の時間軸を持っていること、このことが「結果的に」豊かな人生を送ることにつながるのではないかと。余談ですが、私と皆さんの時間軸にもズレがあるはず。一人ひとりが個別の時間軸を持っている。「私とあなたは違う」という時、それは「私とあなたの時間軸は違う」ということを言っているのかも知れません。そんなことを考えれば、相手にも思いやりを持って接することができそうです。◆現代社会の時間軸と、もう一つの時間軸の間を行ったり来たりする、往還することができれば、複雑多様で先の見えにくい

写真右：総務部長 伊藤隆教諭
写真左：岩井誠校長



教務部 池口良太教諭から「振り返り、そしてその先を考えよ」



1年生諸君、半年前に皆緊張して誰もしゃべらずに静かに座っていたことが思い出されます。是非、後半の目標を立ててください。2年生諸君、高校生活の半分が終わりました。入学時に思い描いた高校生活は送れていますか？部活に勉強に精一杯取り組んで欲しいと思えます。3年生諸君、高校生活の6分の5が終わりました。野球で言うと8回裏。残り半年の努力やその結果は、人生においてもとても重要だと思えます。頑張ってください。

世の中を生きる上でも、「結果的に」心豊かに過ごせるのではないかと考えます。(※11/9(火)16:00～第1回「校内読書会」で『ワスレナグサ』を取り上げることになりました。また、図書館の「星野道夫コーナー」でも紹介されています。)

◆結果と時間の関係性という話でした。日本には「秋の夜長」というステキな言葉があります。夜の時間が長いこの時期に、このことについて少しの時間で良いので考えてみませんか？それが皆さんの残り半年に「何らかの良い結果」をもたらせば幸いです。

前期終業式に先立ち行われた賞状伝達式(全校放送)

受賞者たちから全校生徒へひとこと↓

- ◆県民体育大会 水泳男子50mバタフライ 第3位 清野遥人(3年)
- ◆県民体育大会 テニス18才以下女子シングルス 第3位 小野寺海珠(2年)
- ◆県高等学校新人大会 陸上男子走幅跳 第3位 高橋朝陽(2年)
- ◆県高等学校新人大会 陸上三段跳 第3位 高橋朝陽(2年)
- ◆県吹奏楽コンクール 吹奏楽高校小編成の部 金賞 代表 大井千奈津(3年)
- ◆全国高校ダンスドリル選手権全国大会 HIPHOP女子部門Large編成 第3位 代表 矢野結衣(3年)



◆**文化部活躍!**

〈書道部〉第70回宮城県高等学校書道展覧会
漢字の部 中里未咲(3年) 推薦(第一席)
 小野寺一真(2年) 推薦(次席)
 郷右近燕(1年) 金賞
仮名の部 町美沙季(3年) 入選

※12月7日(火)～12日(日)宮城県美術館県民ギャラリー
 において、中里さん、小野寺さん、郷右近さんの作品
 が展示されます!!

〈文芸部〉第18回宮城県高等学校文芸作品コンクール
詩部門 菅本勇馬(2年) 入選「天気模様」
 突戸煌(1年) 入選「上と下」
短歌部門 阿部優(2年) 優秀賞
 「ねぎ一本〜」「まっすぐに〜」「紙一面〜」
俳句部門 阿部優(2年) 優秀賞
 「路地の上〜」「山桜〜」「煤煙や〜」
 志摩海友(3年) 入選「咳の音と〜」
文芸部誌部門 優秀賞「Spirits.vol. 80」

◆**第2学年 国際理解ホームルーム交流会に参加**

10月7日、宮城県国際化協会の国際理解教育支援事業から、講師にムハマド・ハンナン・アーメドさん(パキスタン)、チッパソン・スワブッタさん(ラオス)を派遣いただき、Zoomによるオンラインでの交流会を開催しました。



母国語での自己紹介やお国事情、生活習慣などをクイズなどを交えて紹介してください、初めて見聞きする文化に生徒達は魅了され、真剣に聞き入っていました。講師の皆さま、ありがとうございました。



紹介やお国事情、生活習慣などをクイズなどを交えて紹介してください、初めて見聞きする文化に生徒達は魅了され、真剣に聞き入っていました。講師の皆さま、ありがとうございました。

◆**第6回登校マナーアップ運動を実施**

10月7日、登校時のマナー向上のため、交通安全委員会の生徒が通学路に立ち、挨拶やマナーアップの声かけを行いました。



◆**10月6日、2021年プロ野球ドラフト会議 本校第70回生 佐藤隼輔さん(現筑波大)はどの球団に?**



←埼玉西部ライオンズから2位指名されて、喜ぶOB・OGと現役部員
 ←本校視聴覚室には、



テレビ局や新聞社が沢山取材に集まりました。

◆**令和3年度「交通安全研修」を実施しました。**

10月14日、全校生徒による交通安全研修を実施しました。今年はいスクエアド・ストレイトを実施し、



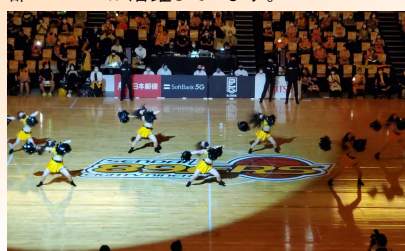
プロのスタントマンによる実際に起きた交通事故の再現を見学し、事故の恐ろしさを実感するとともに、正しい自転車の乗り方について学びました。最後には青葉区より自転車用ヘルメットと、反射板が寄贈されました。交通事故ゼロを目指し、引き続き取り組んで参ります。



←交通安全対策委員長 高橋周平(3年)さん

●**仙台89ERSから本校バスケット部にボールが寄贈されました。**

10月2日、仙台Bリーグが開幕しました。オープニングイベントに招待された本校男女バスケットボール部に、仙台89ERSやそのスポンサー様からバスケットボールが贈られました。プロバスケット界では仙高バスケット部OB・OGが活躍しています。



●**令和3年度「公開研究授業」を実施しました**

10月20日、新型コロナウイルス感染症予防を徹底しながら、6教室を会場に公開研究授業を行いました。今年度も仙台市教育センターのご支援をいただき開催することが出来ました。研究授業後は、授業検討会を開催し、校種を越えた皆様と意見交換を行いました。参加された中学校・高校の先生方、大学院の学生様、ありがとうございました。高校教育課の皆様、学校評議員の皆様、御参観ありがとうございました。



◆**10月20日、「Chromebookを使った授業検討会」**

Googleの「Jamboard」を活用してワークショップを行う先生方↓



地域の皆様にお知らせとお願い

来る11月11日(木)午後5時半ごろ、校庭から**花火**を打ち上げさせていただきます。本校創立80周年記念事業の一環(仙高祭時は中止いたしました)として実施いたします。花火の大きな音や煙等で地域の皆様にはご迷惑をおかけいたします。御理解と御協力をお願いいたします。